

総合評価結果報告書

施設の名称	静岡市美術館		
課名	文化振興課		
指定管理者名	公益財団法人静岡市文化振興財団		
指定期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日		
評価委員会 開催年月日	令和元年6月3日(月)		
評価委員 ※()内は職名 等を記載してく ださい。	①委員長 草分 裕美 (参与兼文化振興課長) ②委員 岩田 智穂 (歴史文化課長) ③委員 萩原 さほり (まちは劇場推進課長) ④委員 小針 由紀隆 (静岡文化芸術大学 教授) ⑤委員 堀切 正人 (常葉大学 准教授)		
評価点 (各委員平均点)	90.2点	評価	Ⓐ B・C・D・E
評価結果詳細	別紙「総合評価結果総括表」のとおり		
総合評価結果を踏 まえての施設所管 課としての意見	<p>履行状況について、施設の設置目的等を十分に理解し、良好な運営が行われている。また、適切に施設管理を行い、災害時等の危機管理体制も整えており、安心・安全な維持管理に努めている。</p> <p>指定管理者の創意工夫については、指定管理者の持つネットワークやノウハウを活かして、教育機関や地元商店街等と連携した多彩な事業を積極的に展開し、幅広い世代に対し美術への関心を高める工夫ができています。また、SNSなど新たな広報手段をいち早く取り入れ、市外・県外にも静岡市美術館の情報を発信できている。</p> <p>市民(利用者)のサービスの向上においては、職員の接遇スキルアップや市民のニーズに沿った運営に努め、よりよいサービスの提供を目指しており、指定管理期間中の展覧会事業に対する施設利用者の満足度は全展平均で8割以上の方から「満足」「やや満足」との回答を得ることができ、館内環境や職員の対応に関する満足度についても、7割以上の方から高評価を得られた。</p> <p>学芸員の美術に関する専門性を活かした多彩なジャンルの展覧会を毎年度開催し、作品の制作背景や作家に関するエピソードをわかりやすく紹介し、市民への美術文化の振興に貢献した。また、「しずおか文化を新たに創造していくパートナー」として市が実施する様々な文化事業に積極的に</p>		

協力し、指定管理者の持つ専門知識等を活用し市の美術館としての役割を果たしている点は大変評価できる。さらに、JR静岡駅周辺の立地を活かして静岡音楽館及び静岡科学館と連携して事業を実施し、市民に多様な文化に触れる機会を提供するとともに、中心市街地の回遊性を高め賑わいの創出にも貢献している。

基本的な履行状況から美術館固有の評価項目まで全体的に高評価であり、非常に良好な運営がなされたと評価できる。

今後も引き続き、現状に甘んじることなく新しい事業にも取り組みながら、市の特色ある美術文化の創造と発信を行い、市民の美術文化を振興する拠点としての機能を果たすべく、よりよい事業運営を期待したい。

総合評価結果総括表

施設の名 称 [静岡市美術館]

課名 [文化振興課]

指定管理者名 [(公財) 静岡市文化振興財団]

	A 評価 委員	B 評価 委員	C 評価 委員	D 評価 委員	E 評価 委員	平均 点
1 履行状況の確認 【配点50点】						
(ア) 静岡市美術館の設置目的及び管理に関する基本的な考え方を理解し、基本理念、基本目標に沿って施設を運営している。【15点】	13	15	14	14	15	14.2
(イ) 当初、計画書等に示された事業が予定どおり、円滑に実施された。【10点】	9	10	9	10	9	9.4
(ウ) 職員の利用者に対する対応が親切丁寧であり、利用者に安心感を与えるとともに、利用者の信頼感を得られるよう努めている。【5点】	4	5	4	5	5	4.6
(エ) 地震・停電等の災害・事故発生時の危機管理体制を整備しており、発生時には迅速かつ的確な対応を行った。【5点】	5	5	5	4	4	4.6
(オ) 適正な能力を持った職員が適切な人数配置された。【5点】	4	4	4	4	4	4.0
(カ) 収支状況において、概ね予算のとおりにより執行されており良好であった。【5点】	3	4	4	4	4	3.8
(キ) 施設の保守・管理・点検・清掃等が適切に実施された。【5点】	4	3	5	5	5	4.4
小 計	42	46	45	46	46	45.0
2 指定管理者の創意工夫 【配点15点】						
(ア) 指定管理者の持つ経験、専門性を活かし、多彩な事業を企画・実施した。【5点】	4	5	5	4	5	4.6

(イ) 指定管理者の持つネットワーク・ノウハウを活かし、学校や他機関との共催・連携等に積極的に取り組んだ。【5点】	4	5	4	5	5	4.6
(ウ) 静岡市美術館の利用や主催事業について、市民に対し積極的な広報活動を実施した。【5点】	4	4	5	5	5	4.6
小 計	12	14	14	14	15	13.8
3 市民（利用者）のサービスの向上 【配点15点】						
(ア) 利用者の満足度調査において高い評価を受けた。【5点】	3	4	4	4	5	4.0
(イ) 職員の対応力向上に努めるとともに、利用者の苦情等には速やかに対応し、利用者の意見を取り入れた。【5点】	4	4	4	5	5	4.4
(ウ) より多くの市民の利便性を考慮し、来館者の増に努めた。【5点】	4	4	5	5	4	4.4
小 計	11	12	13	14	14	12.8
4 施設固有の評価項目 【配点20点】						
(ア) 学芸員の専門性を活かして、市民に質が高く多彩なジャンルの展覧会を提供した。【5点】	5	5	5	4	5	4.8
(イ) 教育普及活動を通じ、幅広い年齢層に対して美術に親しむ機会の提供に努めた。【5点】	5	4	5	5	5	4.8
(ウ) 静岡音楽館、静岡科学館と連携して事業を実施し、中心市街地の多彩な文化交流と賑わい創出に貢献した。【5点】	4	4	4	5	5	4.4
(エ) 市の文化行政を踏まえて、指定管理者の持つ専門知識等を活用し、市が実施する文化事業に協力した。【5点】	4	4	5	5	5	4.6
小 計	18	17	19	19	20	18.6
合 計	83	89	91	93	95	90.2

※ 評価委員名は記載しない。

※ 平均点は小数点以下第2位を四捨五入する。

各評価委員の所見のまとめ（※各評価委員の所見をそのまま記載してください。）

【A評価委員】

チケット収入において、予算を大幅に下回った年があった。
利用者の満足度については、アンケートのやり方に工夫が必要（入館者に比して少なすぎる）
多くの人が見たいと思うものや、地域の文化の発信などバランスよく行っている。美術館の外での人材育成的は事業にも力を注いでいる。
専門性を活かし、また高いレベルでの入館者数を保って運営している。
地域の人材育成にも力を発揮し、本市の求める美術館の目的を効果的に果たしている。

【B評価委員】

場所がわかりにくいとの声多し。引き続き工夫要
基本理念及び設置目的に向けての多彩な活動を評価する。

【C評価委員】

資金調達の努力をし、見える形で表している。
関連事業は広く興味をひかせるもの、深く知れるものなど工夫を凝らしている。
多様なワークショップ等、開かれた美術館に努めている。
企画はバランス良い。
地域拠点の美術館としての役割を果たしている。
広報を意識した話題づくり、まちの顔にもなりえるブランドとして貢献している。
高く評価されている。
トークフリーダーの設置などチャレンジしている。
商店街との連携、協力し、サービス向上に役立てている。

【D評価委員】

展覧会の展示がいつも見やすく、日頃の研究の成果がでているように思われる。
すべての項目とも良好。
ここ数年間の市美の活動状況を見ると、憂慮すべき点は見当たらず運営は概ね良好と判断される。
人材育成や研究環境の整備等については、高い目標を掲げ鋭意向上に努めてほしい。

【E評価委員】

開館5～10年の施設としては、十分な実績である。
他美術館等との連携を積極的に進めていることは、人的交流、経営効率性、事業内容の向上など多方面でメリットが多く、評価に値する。
概ね良好と思われる。
中勘記念館、マリナート、東静岡アート&スポーツヒロバなど、市の文化事業への協力は十分に評価できる。
全体的にたいへんよく取り組まれていると考える。この先さらに5年を展望するには、職員の育成、確保、待遇の向上など人的戦略が不可欠となるだろう。その点も踏まえて今後の市美術館の将来を検討いただきたい。

評価委員会としての意見

施設の設置目的及び管理に関する基本的な考え方を理解、達成するために明確な事業方針を定め、静岡市美術館の魅力発信に努めていることから、良好な施設の運営が行われている。
主要事業においては、指定管理者の持つ経験やネットワークを活かして、幅広い分野の展覧会の開催に加え、教育機関や他施設との連携を通じあらゆる世代に対し美術への関心を高める機会を提供している点は大変評価できる。